

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

「地球の秘密」
坪田愛華 著

「2℃の違い」を知る絵本
佐伯平二 著
おおの麻里 イラスト

8月 図書館カレンダー

2022 年 August						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

梅雨が明けて、これからは最も暑さが厳しい時期になります。この機会に、地球の環境について学んでみませんか？

変化の激しい現代、私たちを取り巻く状況も刻々と変化しています。戦争、アジアの時代、頻発する自然災害、プラスチックごみ、気候変動、脱炭素、アフターコロナ…。メディアでよく見るこれらのキーワードを難しいと思う前に、気軽に本を読んでみてはいかがでしょうか？今月は、環境関連の本をご紹介します。

地球の秘密

30 年前、12 歳の著者の遺作です。環境問題を漫画で分かりやすく表現しています。英語、アラビア語、中国語などに翻訳され、国連環境計画（UNEP）が環境問題に貢献した人に贈る「UNEP グローバル 500 賞」を受賞。海洋汚染、酸性雨、熱帯雨林の伐採など、国連の SDGs で提言された問題をすでに書いています。30 年を経て、著者のメッセージ「美しい地球」は、実現しているのでしょうか。

地球環境平和財団「地球の秘密」AIKA 委員会



「2℃の違い」を知る絵本

地球において 2℃の違いは、気温の上昇であれば「ちょっと暖かいな」と能天気と考えてしまいがちですが、魚は水温の変化に敏感で、1℃の変化が、人間にとっては 10℃の変化に相当するといわれます。

この本では、もし、温度が変化すると魚の生息地が変わり、今まで取れていた魚が取れなくなり、紅葉のシーズンがずれ、森林火災が発生しやすくなると予測しています。



青春出版社

図書館

☎ 029-897-0647



ホームページで、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

歴史

にふれる

男池の大蛇



▲霞ヶ浦町教育委員会発行
「ふるさとの伝説」挿絵

7 月の季節行事には七夕があります。七夕にまつわる伝説といえば、織姫と彦星が登場する物語が知られていますが、かすみがうら市にも同じような物語があることをご存じでしょうか。

田伏の男池(旧佐賀小学校付近)は、今は大部分が水田となり、池の面影はありませんが、その昔は、満々と水をたたえた大きな池「男池」でした。高浜入りを挟んだ対岸の玉里(小美玉市)には「女池」という池があります。ここも同じように現在、大部分が蓮田となり、昔の面影はとどめていません。

この田伏の男池と玉里の女池には、関連する伝説があります。男池と女池には、年を経た大蛇がそれぞれ住んでいました。この男池と女池の大蛇は、

霞ヶ浦を隔ててそれぞれの池に別々に住んでいましたが、お互いに慕い合い、年に一度だけは広い霞ヶ浦を渡って、一夜の逢瀬を楽しむことができました。しかし、この逢瀬を楽しむためには、条件がありました。それは、女池の大蛇は、どのような日照りの時でも、適度に雨を降らせて、女池にいつでも満々と水をたたえておかねばならないことでした。この条件が整った時に、男池の大蛇は、天に向かって雲を呼ぶのです。願ひ通り雲を呼ぶことができれば、男池の大蛇は、雲に乗って嵐を起こし、霞ヶ浦に白波を立ててまっしぐらに女池の大蛇のもとに泳ぎ渡ることができました。しかし、こうした条件が整わない年には、年に一度の逢瀬もかなえられなかったのです。

この男池と女池の大蛇伝説は、酷暑の折にも雨を降らせて、秋の豊かな実りをもたらすための人々の願ひがこめられた伝説と考えられています。

かすみがうら市にはこの他にも面白い伝説がたくさんあります。皆さんも長い年月をかけて語り継がれてきたふるさとの伝説を、歴史博物館で学んでみませんか。

歴史博物館

☎ 029-896-0017



一緒にスポーツやってみませんか？



今月のテーマ KSC なかよしクラブ 硬式テニスの紹介

スポーツ振興課 ☎ 029-898-9907

総合型地域スポーツクラブに参加しませんか

地域住民によって運営され、さまざまなスポーツ体験などを実施しているクラブが、市内に 2 団体あります。



- ・KSC なかよし ☎ 090-2417-8502 (大和)
 - ・KSC エンジョイスポーツ ☎ 090-2420-7846 (高田)
- ※体験料金や会費、実施種目などの詳細は、お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

テニスの歴史 ～なぜ日本には硬式と軟式があるの？～

硬式テニスの発祥地は、11・12 世紀のフランスの修道院です。当初は、手のひらでボールを打ち合っていたそうですが、やがてヨーロッパの貴族に広まり、その後道具やルールが生まれました。1500 年頃には、イギリスを中心に発展し、国際試合も開催されるようになりました。日本へは、明治時代初頭にアメリカ人教員が持ち込んだといわれています。ただし、ラケットやボールは輸入に依存しており、とても高価だったため、当初はおもちゃのゴムマリを利用していました。その後、テニス用ゴムマリが

生産され、先に軟式(ソフト)テニスが広がりました。戦後は、当時の明仁皇太子殿下と後の皇太子妃となる正田美智子様が軽井沢のテニスコートで知り合われたことから、昭和 33、34 年にかけて、空前の硬式テニスブームが到来しました。

着実にテニス人口は増えて、最近では錦織圭選手や大坂なおみ選手のような、世界で活躍する日本人選手もたくさんいます。

一緒にテニスをしませんか？

なかよしクラブの硬式テニスは長年人気の種目です。勝ち負けよりプレーを楽しむことに重点を置いて、汗を流しています。一緒にプレーしませんか。

◎田午後 6 時～9 時(4～11 月) / 第 1 常陸野公園

◎田午後 6 時～9 時(12～3 月) / 多目的運動広場

◎田午前 9 時～11 時 / 第 1 常陸野公園



文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会

文鎮によき石得たり夏河原
天をつくほどの高さや花なつめ
万緑や観音像のやさしき瞳
良き声の朝のあいさつ四十雀
万緑や歩巾ゆるりと合はせたる

紫陽花俳句会

山百合や白き際立つ夕まぐれ
竹割りて流す素麺躍る箸
旧道に山百合香ほる一里塚
堂々の風車ゆるやかに夏来たる

出島短歌会

携帯の電話を見つつゆく人の点すあかりが夕べに満つる
女子高生通学バスであれこれと念入り化粧にライン通信
立あおい天辺までも咲きつぎて梅雨の終りか未だ水無月
のきすずめ巣立ちの朝か騒がしく葉陰の猫を警戒の声

投稿作品

妻の名はちよとから「おい」へと七変化ありき名前は何処の空へと消えにけり	岡田よう子
酷暑日に吾子の注意を耳にして「生きる」を読み窓辺に暮れり	石塚清
早朝の沼の葦の中ヨシキリがさかんにさえずり何を呼ぶのか	齊藤勝広
開拓に利用された道路ぞい紫陽花も咲きフラワールードと	横井正子
ふる梅雨に大気震わし筑波路へ響き渡るやうぐいすの声	中島良平
久しぶり麦飯食めば遠き日の暑き穂波の麦秋過ぎる	沽野はつ子
弘法様聖誕近づき思慕の念水を治めて疫病治めて	近藤善康
「ちよとこい」何処へ誘ふ杜鵑	釈一浄
額の花咲けども雨の降らざりき	兼西清治
田植え終水の管理や秋を待つ	石橋たかの
どこからか一頭の蝶細き雨	竹村啓子
星祭り拙い文字の願い事	中村耕二

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。8月3日(金)までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。